

『命の授業～ドリー夢メーカーと今を生きる～』風景

令和元年6月11日

【命の授業－講師：腰塚勇人さん】

元中学校体育教師。スキーでの重大事故で首の骨を折り、全身マヒの体に。その後、懸命のリハビリにより社会復帰できるまでに回復し、現在は『命の授業』の講演を通して「命や当たり前前大切なこと」や「ドリー夢メーカー」として「命の喜び生き方」について伝えている。



○ 今日の講演を聞いて命について改めて深く考え、改めて命の大切さを知ることができました。

今日の講話に出てきた「ドリー夢メーカー」や「ドリー夢キラ」は誰の心にもあるという事を知りました。それなら、「ドリー夢メーカー」の多い自分でありたいと思いました。

でも、「ドリー夢キラ」になることもあると思います。そんな時はできるだけ早く気付けるように自分に向き合って生きていきたいです。

○ 今日は、私たちのために命の授業をしていただきありがとうございました。腰塚さんの体験から沢山の事を学びました。

腰塚さんの話は、テレビや小説などでも全国に広まっていて、何より腰塚さん自身が日本中の学校などを回って話をしてくださるのが、私にとって素晴らしい、すごい事だと思いました。

そして、腰塚さんのこの行動こそが「ドリー夢メーカー」だと思いました。



○ 今回の講演を聞いて、一つ一つの物事の大切さを学びました。5つの誓いの中で、自分にまだできていない部分の一つがありました。それは、「口」です。「口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう」。私は、あまりたくさんの人と楽しく話す事ができなく、自分の気持ちに素直になれないことが多いです。心の中では、たくさん話したいのに、話し出せない自分がいて、これからは周りの人や相手に対して、励ましの言葉、自分の本当の素直な気持ちを伝えられるように一つ一つ意識していきたいと思いました。今、自分には「ドリー夢メーカー」が50%、「ドリー夢キラ」が50%ぐらいです。これから少しでも夢について考えて、世界にはいろいろな人がいることを意識して、生活していきたいです。